



2026春闘を職場・地域から連帯して闘おう！ ⑨

## リニアで賃金・労働条件が良くなならない！ ベア、定昇、夏季手当満額回答を再度要求！ 2026春闘第5回団交

本部は本日、2026年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求に関する申し入れに対する第5回団交を開催しました。今回は、専任社員の労働条件、リニア建設、更衣時間などについて議論し、ベア、定期昇給、夏季手当の満額回答を再度要求しました。

専任社員の労働条件などについて、本部は「今回は基本給30万円を要求した。これは世間並みの賃金にせよという趣旨だ。賃金半分、労働条件は現職と同じでは、同一労働同一賃金の趣旨に反する。会社は自覚せよ。処遇も現職と同一にせよ」と主張しました。会社は「専任社員の制度設計を考慮した制度で、雇用形態が違う。高齢を理由に業務内容、勤務形態とする考えはない」と回答し、対立しました。

リニア建設について、本部は「建設費11兆円になったことにより、2兆円以上の資金調達が必要になった。経営破綻は確実だ。建設を中止せよ。土地収用と思われる家に、JR東海と思われる社員らが何度も昼夜を問わず押し掛け、住民が大変迷惑している。直ちに止めろ」と主張しました。会社は「物価上昇に幅を持たせて建設費を算出した。建設を中止する考えはない。住民には真摯に対応してきたが、県の工事事務所に問い合わせをしてもらいたい」と、建設ありきの姿勢に終始しました。

更衣時間について、本部は「厚労省のガイドラインを遵守するのが当然だ。指揮命令下がないという主張は、実態からしても通用しない。更衣は黙示的な指示だ。連合調査では65%の企業が労働時間とされている」と主張しました。会社は「更衣場所、時間帯、更衣方法等について使用者の拘束下がない」と対立しました。

ベア、定期昇給、夏季手当について、本部は「社員への投資が少なすぎる。経営状況からすれば、2日間の営業収入でベア満額は賄える。人件費は微々たるものだ。人件費をこれだけ絞るということは、リニア建設が原因である。これだけ賃金・手当を絞れば、優秀な人材がどんどん離れていくし、入社希望者も集まらない。要求通り満額回答をせよ」と主張し、申し入れに対する団交は終了しました。次回、会社から回答が示されます（回答日は未定）。